

スクール・カウンセラー
もとひろ
タマリハ 藤枝幹大先生に聞いてみよう!

心理学と臨床の面白さと奥深さが伝わるような授業を

タマリハ新聞

番外編
発行所
多摩リハビリ
テーション学院
専門学校



タマリハで教授している内容
「認知・学習心理学」「生涯発達心理学」「臨床心理学」「心理学概論」「人間関係とコミュニケーション」

臨床心理士・公認心理師 からみた言語聴覚士の魅力

言語聴覚士の魅力は、何と云っても脳の中や身体構造がよく分かっているということ。私たちが臨床心理士は心理学を修めています。心理学は、目に見えない現象から目に見えない心の中を推測する学問です。医学としての解剖学や生理学、神経学は詳しく学びません。その点、言語聴覚士は、現象としての症状も学びつつ、脳の中や体の中で何が起きているのかも勉強します。つまり、その基礎に医学があるということ。そうした観点から、ものが言葉というところが最大の魅力であるということが最大の魅力です。

だと思えます。当校への入学をご検討頂いている方に、ひとつとお話しさせて頂きます。

私は、臨床心理士および心理学修士という立場からタマリハの言語聴覚学科の心理学の授業で教鞭をとっています。したがって、心理学を通して、心理学と臨床の、面白さと奥深さが伝わるような授業を心がけています。人の体を動かしているのは心です。言語聴覚士の先生方のわかりやすい専門の授業に加え、言語聴覚士だけでなく作業療法士も理学療法士も介護福祉士も、そのすべてに通じる心理学とは何かということを通じて、

タマリハのスクールカウンセラーとして、また教員として様々な角度から学生に親身になってくださる藤枝先生。相談に訪れる学生や卒業生はさぞ心強いことかと思えます。自分でも何をどう相談したいのか、本当はどう考えているのか、わからなく

言語聴覚士を目指す人へ

少子高齢化と医療の発展に伴い、死亡率が減ると同時に障害者・児が増えています。特に認知症と発達障害です。こうした方々に専門的な支援ができるのは、言語聴覚士と作業療法士、そして臨床心理士です。なかでも、言語聴覚士は本当に人手不足で、自分の専門以



なることはありませんか。そんな時、そっと寄り添って耳を傾けてもらえることで、奥底にある本当の自分の気持ちに気づかされる。藤枝先生は優しく、だけど問題点については的確なアドバイスをしてくれる学生たちの味方です。

こころの声を聴くプロフェッショナル 編集後記

皆さんはもうすぐプロの臨床家になります。臨床家とはどういう人なのでしょう。どのような臨床家になりたいのですか。臨床の本質は人間関係ですが、その人間関係にその臨床家の生き様が表れます。その生き様はその人の本質を表しますから、臨床という営為は、その臨床家の生き方そのものといってもよいのかもしれない。したがって、本当に患者さん本位の臨床をするには、臨床家自身が自分の人生を真摯に生きること、そのためには、自分自身をより深く知っていくことが必要なのではないかと思っています。

在校生の皆さんへ

外のこともやらなければならぬ状態のようです。何よりも困っているのは障害を抱える当事者とその家族の方々です。少しでも早く、少しでも多く、言語聴覚士が増えることを望んでいます。

多摩リハビリテーション学院専門学校
 作業療法学科・理学療法学科 (高卒3年課程)
 言語聴覚学科 (大卒2年課程) 介護福祉学科 (高卒2年課程)
 〒198-0004 東京都青梅市根ヶ布 1-642-1 TEL. (0428)-21-2001 FAX. (0428)-21-2410

